

委託業者に大門建設追加 麓・村山・山崎地区委託

例年になく高いカマキリの巢

豪雪に備えて万全体制

弥彦村 請求棄却判決は確定 除雪会議

弥彦村は十五日午後三時から役場大ホールで令和元年度除雪会議を開き、今年度の冬期道路除雪計画を決定。今年度は豪雪に備えて万全の体制をとるため、弥彦村と裁判で争った建設業者を四年ぶりに除雪委託業者に復活させた。

会議には区長をはじめ

め、弥彦村、三条地域振興局、西蒲署、弥彦消防署、村内の各団体などから約四十人が出席。

開会あいさつで、除雪対策本部長の小林豊彦村長は、自宅軒下の地上約三メートルにカマキリが巣を作ったほか、近所でもカマキリの巢が例年になく高い位置にあることを紹介し、カマキリの積雪予報では豪雪の可能性がある

会議には区長をはじめ

「首長の危機管理の心得の中に、疑わしきは万全の体制をとって行動せよ。空振りには許されないなど見逃しは許されないなど六ヶ。作業種別では機械

がある。もし大豪雪になった場合は村民に大変な迷惑をかけるので、その雪パイプは三十一・三時。

道路延長百八十三・四キロに対する除雪割合は六八%。出動基準は車道除雪は降雪深十センチ、歩道除雪は降雪深二十センチ。総務課内に除雪対策本部を設け、本部長の指揮のもと、弥彦村と委託業者十社が除雪車両十七台で除雪作業を行う。

除雪路線は、村道美山

大戸線の村道山崎川崎線から大戸企業団地の区間が十二月中旬に開通するため、除雪路線は〇・九キロ延伸される。

除雪委託業者では新しく麓、大門建設(株)を追加し、昨年度まで村が実施していた麓地区、村山地区、山崎地区の除雪を委託する。

大門建設は、村発注の公共工事で談合を行ったとして指名停止されたことに対して、平成二十七年、損害賠償を求めて弥彦村などを提訴。昨年十一月、新潟地裁は原告の請求を棄却する判決を下し、判決は確定した。村は平成二十七年年度か

ら、大門建設を除雪委託業者から外し、判決確定後も公共工事の指名業者から外していたが、小林村長は豪雪への万全の体制をとるためとして、今年度、委託業者に追加。大門建設とともに村を提訴した茨野、みな川建設についても、弥彦地区の凍結防止剤散布を委託した。

県道の道路除雪計画では出動基準は村と同じ

く、車道十センチ、歩道二十センチ。凍結防止剤の散布は零度以下の予報のときに主に夕方散布する。ほかに西蒲署から冬期間の交通対策、弥彦消防署から緊急車両の交通確保などを説明した。

質疑はなく、会議は三十分ほどで閉会。引き続き、区長会の要望会を開いた。

弥彦神社前 ないや
美味酒房 名代家
電話〇三六八四二〇三



カマキリの積雪予報を説明する小林村長



役場大ホールで開かれた弥彦村除雪会議

最新カラオケセット 販売収益で寄贈

テレビに接続 900曲収録

小野園長

弥彦村麓、障害者支援のほど、最新のカラオケ懐メロ、Jポップまで得活動を楽しんでいる。

やこの里は弥彦、燕、理新潟の三市村で構成するの西蒲原福祉事務組合(管介

